様式３（2020.08改）

作成日　令和3年6月3日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393800079
事業所名	グループホームこまきの泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ下においても、散歩時に近隣住民との挨拶や、野菜の差し入れをもらうなど、地域との交流が行われている。 地域ボランティアや防災訓練時の地域住民参加など、コロナ終息に伴う活動の再開が待たれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍により、行政と相談し書面開催としている。 区長・民生委員・行政に資料を持参し、ホームや地域のことを話す機会としている。 今後、行政やホーム協力医の意見を聞きつつ対面開催を視野に入れている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の介護保険課とは、運営推進会議の議事録を持参する際に情報交換を行い、気軽に相談などができる関係を構築している。 地域包括支援センターと連携し、困難事例の対応を行ったこともある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍により、家族面会は制限中である。 家族の要望等は電話で確認し、利用者・家族とのやり取りを個人記録に残し、職員間で共有している。 家族からは、コロナ禍対応への労いの言葉が多く、職員の励みとなっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

行政に相談の上、6回すべてを書面開催とし、資料は関係者に届けている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										